



柏原中だより

令和2年10月号 狭山市立柏原中学校

〒350-1335 狭山市柏原2520-11 TEL04-2954-5073 生徒数 250名

<学校教育目標> 今を精いっぱい生きる・凡事徹底 ○希望を持って進む生徒

学校行事のありがたさ

校長 井堀広幸

8月18日に2学期が始まってから、当初から計画していた学校行事の準備が本格化してきました。すべての学校行事を全て中止にしている近隣の市町もある中、狭山市では十分に感染防止対策をする中、実施する方向で動いてまいりました。本校も、9月19日(土)に体育祭を、9月29日(火)～10月1日(木)に3年生の修学旅行を実施しました。また、10月7日(水)～8日(木)には、2年生の宿泊学習を予定しています。こうした行事の準備が始まると、これまで授業だけしかなかった1学期に比べ、生徒の表情に生気が蘇(よみがえ)ってきたような感じがしました。クラスや学年、あるいは縦割りの団で協力し、行事を計画通り、そして思い出に残るように成功させようと、生徒たちは一生懸命に力を発揮します。そうした活動や取組が生徒のやる気を育て、自尊感情や自己有用感を高める契機になります。そう考えると、学校行事のありがたさが、しみじみと感じられるのです。

本校のコロナ禍の中での行事をはじめ、その他の教育活動に、保護者の皆様、各ご家庭でご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。これからも、どうぞよろしく願いいたします。

第39回体育祭 コロナ禍の中での協力で大成功！ <9月19日(土)>

～来賓・保護者の皆様、多数のご来場、選手への拍手、ありがとうございました～

「コロナ禍の逆境をぶち壊せ ～つかめ優勝 最高の体育祭！～」というスローガンのもと、文字通りコロナ禍のさなか、柏原中学校、第39回体育祭を開催しました。心配された天気も、生徒たちの熱い思いで、どうにか雨に見舞われずに済みました。保護者の皆様には事前の検温をお願いし、また、密にならない観戦にもご協力いただきました。当日は、203家庭の保護者の皆様においでいただき、来賓も含めて422名の来場がありました。誠にありがとうございました。

さて、今年度は、全校生徒がそれぞれ、桃団：「天下桃一(てんかとういつ)」3年1組：〇〇〇〇団長、青団：「全力疾蒼(ぜんりょくしっそう)」3年3組：〇〇〇〇団長、赤団：「星赤燎原(せいかりょうげん)」3年2組〇〇〇〇団長の3つの団に分かれ、どの団も総合優勝を目指してお互いに競い合いました。

今年度は感染予防対策として、組体操やダンスの集団演技をなくし、密着が多くなるムカデリレーや足つなぎリレーを別の種目に変え、応援合戦は団全員で行わず、3年生と1、2年生の代表で行いました。さらに大縄跳びでは、クラスを3つに分けて跳びました。

こうした制約の多い体育祭でしたが、どの団も一生懸命取り組み、選手一人一人が真剣に、最後まであきらめない粘りを見せ、たいへん感動させられました。桃団が天下桃一し総合優勝をもぎ取りました。コロナ禍の中ではありましたが、生徒一人一人が感染防止をしっかりと実施できたことは、一つの成果であり、この成果を、次の音楽会につなげられるよう期待しています。

<結果> (敬称略)

学年	1年	2年	3年
優勝 団	桃 団 (団長：〇〇〇〇)		
優勝学級	1組	3組	1組
応援合戦	桃 団 ・ 赤 団		

下の写真：

(左)団長による選手宣誓 (左中)青団集合
(右中)赤団集合 (右中)桃団集合



3年修学旅行(北陸) ～能登島・金沢・白川郷～ <9月29日(火)～10月1日(木)>

本来であれば、5月13日から2泊3日で行く予定だった修学旅行を、3月末の時点で今回実施した日程に変更し、コロナ禍の中でしたが、無事に終了することができました。毎日検温し、2週間前からはそれに加えて入念な健康チェックを行い、生徒一人一人が、自分の健康管理をしっかりと行ってくれたお陰で、旅行中も、発熱等で具合が悪くなる生徒もおらず、旅行の全行程を計画通り実施することができました。健康管理の面では、各ご家庭でも気をつけていただいていたと存じます。ご協力に大変感謝いたします。

さて、1日目は能登島観光で、のどしま水族館を見学し、ドラゴンボート体験、海釣り体験、民宿に入ってから、魚さばき体験を行いました。この日は風もなく、絶好の釣り日和で、海面も穏やかだったので、ドラゴンボート4隻でレースもできました。各民宿で、自分のさばいた魚が夕食として出され、誰もが舌鼓を打っていたことでしょう。

2日目は、能登島から金沢市内に移り、終日、班別で市内観光をしました。忍者寺(妙立寺)、近江町市場、21世紀美術館、ひがし茶屋街、尾山神社、石川県立歴史博物館…など、班で決めたコースを巡った後、午後3時に金沢城に集合し、「まいどさん」(シルバー人材の観光ガイドさん)の案内で、班別で兼六園と金沢城を見学しました。

3日目は、世界遺産である白川郷に向かい、約2時間にわたって合掌造り集落を散策しました。帰りの金沢駅では、石川県観光協会の歓待を受け、駅東口の鼓門の前で、石川県観光PRマスコットキャラクターの「ひゃくまんさん」と一緒に、記念撮影をしていただいて、帰路につきました。

今回の修学旅行にあたっては、「国内修学旅行の手引き」(日本旅行業協会)や狭山市教育委員会からのガイドラインに沿って計画・実施してきましたが、宿泊施設やバス会社など、受け入れる側も、感染防止をしっかりとやってくれていることが、実施してみてよくわかりました。例えば、どのバスも車内換気はもちろん、乗車口に消毒液を設置していたり、民宿では、できる限りの部屋を提供し、一部屋を少人数で泊まれるようにしたり、金沢の旅館では、ロビー、大広間、客室の廊下に、何台もの空気清浄機が置かれ、生徒が滞在中は常に稼働していたりと、感染防止に万全を期していただいていることが見て取れました。

今回の修学旅行では、実行委員を中心に、リーダーがよく頑張れました。今回の旅行で学んだことを、今後の進路選択・進路決定での個々人の中でも生かしていけるようにと願っています。



<写真>

ドラゴンボート体験	海釣り体験	魚さばき体験	香林寺(金沢市)
ひがし茶屋街(金沢市)	忍者寺(妙立寺)	金沢城(金沢市)	兼六園(金沢市)
白川郷散策(岐阜県)	金沢駅前鼓門 3年1組	金沢駅前鼓門 3年2組	金沢駅前鼓門 3年3組